

# 学校評価（後期）報告書



浜松市立相生小学校  
令和7年3月

# 1 自己評価の結果

## (1) 令和6年度学校教育目標

### 学校教育目標

### 風の子 太陽の子～ともに未来を創る～

#### ① 学び合い：なりたい自分に向かって主体的に学び合い、ともに成長する子

○学ぶ意味や目的、良さが分かる。

○学び方が分かる

○どのように考えるのかが分かる。

○友達と伝えあい、自分の学びを深める。

・「相生スタンダードをもとに授業を実践し、子供主体の学びを実践する。

・今の学びが自分の未来とつながっていることを伝える。

・子供の成長や活動の様子を価値付ける。

・自分の成長や課題を実感できるような授業づくりをする。

・「どのように学ぶのか」という課題解決の手順や方法を示す。

・「比べる」「関連付ける」「順序良く並べる」「分類する」「類推する」などの考え方を示す。

・交流の目的や視点を示す。

#### ② 認め合い：自他のよさを知り、認め合い高め合う子

○自分のよさを知り、友達のよさがわかる。

○自分で判断し、よいことを進んで行うことができる。

○よりよい学級・学年・学校にするために働くことができる。

・キャリアパスポートを活用し、自己のよさや成長を振り返る時間を設定する。

・学級・学校内での子供同士の称揚の場を日常的に設ける。

・あいおい10か条を生活のめあてと連動させながら、全職員が共通認識をもち、繰り返し指導に当たる。

・全職員でよい行いを褒め、広めていく。

・年間を通して児童会活動や学級活動を核に児童の創意を生かす取り組みをしていく。

・委員会活動・係活動を通して、役に立つことのよさを価値付けしていく。

・学級での話し合い活動を活性化させ、子供の考えを生かした活動や行事をつくる。

#### ③ 鍛え合い：心身ともに健康で、体力の向上を目指して鍛え合いあきらめずに挑戦し続ける子

○体を動かす楽しさを味わい、主体的に運動する。

○基本的な生活習慣を身に付け、安全な生活ができる。

・主体的に取り組むことができる体育的行事（新体力テスト、運動会、持久走大会）を企画・運営する。

・生き生きタイムにあいスポーツを実施し、多様な運動に触れる機会、目標に向かって努力できる機会、様々な人との関わりをもてる機会をつくる。

・道具やコート等を準備して外遊びに取り組みやすい環境を整えるとともに、放送や掲示等で広げたい表れを紹介する機会をつくる。

・清潔検査、保健週間を通して、各種便り等で子供自身と家庭への啓発を行い、健康な生活習慣への関心を高めさせる。

・日々の給食を通して、食事のマナーや自分自身に必要な食事量、栄養素を知り、健康な体づくりをさせる。

- ・心の日を通して、自己肯定感を高め、心を安定させる。
- ・具体的な場面を想定し、必要感のある避難訓練を実施することで、緊急時の防災意識を高める。
- ・委員会活動や下校指導などを通して、安全な生活や登下校を意識させる。

#### ④ 支え合い

○家庭・地域と連携・協働し、ともに歩む学校

○心身ともに健康で、明るく元気な教職員がいる活力ある学校

- ・コミュニティスクール ・キャリア教育の推進 ・教育の情報化（GIGAスクール構想）
- ・家庭教育へのサポート ・働き方改革の推進

(2) 令和6年度学校評価アンケート(12月) 前期、前年度比較  
○集計 一覧 (1)

R6 .12実施

	児童	よくできている+大体できている(%)	保護者	よくできている+大体できている(%)	教職員	よくできている+大体できている(%)
なりたい自分と向き合い、ともに成長する主体的に	授業で学ぶことの意味や目的、学ぶ良さが分かっている。	88 前期88	子供は学ぶ意味や目的、学ぶ良さが分かっている。	81 前期79	学ぶ意味や目的、学ぶ良さを子供たちが分かるような授業をしている。	91.3 前期95.8
	学習のめあてを解決するための調べ方や話し合いの仕方が分かっている。	87 前期85	子供は、課題解決の方法や手順などの学び方が分かっている。	71 前期70	子供たちが学び方が分かるように、手立てを講じている。	100 前期92
	授業で目当てについて考えるときに、前に学んだこととつなげたり友達の話聞いて自分の考えと比べたり違いや同じところを探したり理由をつけて自分の考えを言ったりしている。	87 前期85			「比べる」「仲間分けする」「つなげる」「順序良く並べる」「類推する」などの考え方を示し、授業をしている。	79.2 前期64
			子供は、家庭学習に自ら進んで取り組んでいる	81 前期82 R5 78.2・R4 66.7		

自他のよさを知り、認め合い高め合う子	友達のよいところに気付くことができる。	94 前期91 R5 88	子供は、友達のよいところに気付く、協力し合うことができる。	95 前期95 R5 92.5	自分や友達のよいところを認め、仲良く生活できるような手立てを講じている。	100 前期95.8 R5 89.0・R4 86.2
	よいことと悪いことを判断し行動することができる。	85 前期82 R5 82.8・R4 87.4	子供は、よいことと悪いことを判断し、正しく行動することができる。	90 前期89 R5 91.7・R4 93.1	善悪を判断し、行動できるような手立てを講じている。	100 前期92 R5 100・R4 89.7
	いつでもだれに対してもあいさつをすることができる。	88 前期89 R5 85.0・R4 82.9	子供は、地域や家庭で進んで挨拶することができる。	78 前期77 R5 85.2・R4 75.2	いつでも誰にでも挨拶ができるような手立てを講じている。	83.3 前期79.2 R5 59.0・R4 69
	よりよい学級・学年・学校にするために進んで働くことができる。	90 前期92 R5 88.9・R4 86	子供は、人のために進んで働くことができる。	88 前期85 R5 84.9・R4 82.1	よりよい学級・学年・学校にするために働くことができるような手立てを講じている。	95.9 前期92 R5 100・R4 93.1

心身ともに健康で、鍛え合い、あきらめずに挑戦し続ける子	体を動かすことが楽しく学校で進んで運動している。	85 前期82 R5 84.4・R4 88.7	子供は、体を動かすことが好きで、学校で進んで運動している。	82 前期83 R5 84.7・R4 80.3	体を動かす楽しさを味わい、進んで運動するような手立てを講じている。	100 前期91.6 R5 76.0・R4 96.6
	健康に気を付けて、生活している。	90 前期86 R5 86.7	子供は、健康に気を付けて生活している。	92 前期91 R5 91.1	健康に気を付けて生活ができるような手立てを講じている。	96 前期96.2 R5 86
	周りをよく見て安全に生活することができる。	89 前期88 R5 86.1・R4 91.4	子供は、周りの状況を見て安全に生活することができる。	93 前期91 R5 91.7・R4 93.4	周りの状況を見て安全に生活できるような手立てを講じている。	95.9 前期84.6 R5 79.0・R4 72.4

キャリア教育	相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している。	91 前期89 R5 89.3・R4 91.8	子供は、相手の話をよく聞き、友達と協力して行動することができる。	94 前期90 R5 90.1・R4 90.5	子供が相手の話を聞き、友達と協力して行動できるような手だてを講じている。	95.8 前期92 R5 84.0・R4 86.2
	自分のよさに気づき、自信をもっている。	80 前期79 R5 75.2・R4 79	子供は、長所を伸ばしたりさらに高めようと努力したりしている。	85 前期82 R5 83.1・R4 81.2	子供が自分のよさに気づき、自信をもつような手立てを講じている。	95.8 前期100 R5 87.0・R4 86.2
	失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している。	85 前期84 R5 81.1・R4 80.7	子供は、失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦することができる。	78 前期72 R5 72.6・R4 68.5	子供が失敗を恐れず自分の考えた方法で繰り返し挑戦できるような手だてを講じている。	95.8 前期88 R5 80.0・R4 79.3
	夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学ぶことができる。	89 前期88 R5 88.5・R4 89.3	子供は、夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができる。	80 前期78 R5 76.4・R4 77.8	子供が夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学ぶことができるような手立てを講じている。	95.9 前期95.8 R5 97.0・R4 89.7

令和6年度学校評価アンケート(12月)  
○集計 一覧 (2)

R6.12実施

児童	よくできている+大 できている(%)	保護者	よくできている+大 できている(%)	教職員	よくできている+大 できている(%)
学校は楽しい。	<b>89</b> 前期89 R5 90.4				
先生は、よいところをほめてくれる。	<b>92</b> 前期94 R5 90.7				
先生は授業でキャリア教育で育てたい4つの力について話してくれる。	<b>92</b> 前期87 R5 89.1	相生小のキャリア教育で育てたい4つの力について知っている。	<b>82</b> 前期85 R5 76.6		
先生はchromebookを使った授業をしてくれる。	<b>95</b> 前期94 R5 84.4	学校は、タブレットパソコンや大型テレビなどのICT機器を使って授業をしている。	<b>93</b> 前期93 R5 80.8	ICT機器を活用する場を設定し積極的に利用している。	<b>86</b> 前期69.2 R5 50.0
先生のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらった学習や活動は楽しい。	<b>92</b> 前期94 R5 92.8	学校では教師のほかに学習ボランティアさんなどに支援してもらって学習や活動を行っている。	<b>95</b> 前期94 R5 88.9	コミュニティスクールの導入により、地域や保護者の協力を得ることができている。	<b>88</b> 前期100 R5 90.0
		学校は、子供に寄り添い教育活動をしている。	<b>96</b> 前期97 R5 92.9		
		学校は、学校学年日よりさらに連絡網などで学校の教育活動を知らせている。	<b>99</b> 前期96 R5 95.6	学校学年便り、さら連絡網での連絡等を通して家庭教育へのサポートができている。	<b>88.5</b> 前期92.3 R5 97.0
		学校は子供のことを相談しやすい。	<b>93</b> 前期93 R5 87.5		
				職員の子供と向き合う時間の確保ができるような手立てが講じられている。	<b>57.7</b> 前期55.5 R5 43.0
				自らのタイムマネジメントができている。	<b>69.2</b> 前期55.5 R5 43.0

### (3) 後期学校評価考察

#### 学び合い(知) になりたい自分に向かって主体的に学び合い、ともに成長する子

- ・ 学ぶ意味や目的、良さが分かる。
- ・ 学び方が分かる。 ・ どのように考えるのかが分かる。
- ・ 友達と伝え合い、自分の学びを深めることができる。

数字は、「よくできている」「できている」の合計

#### ○授業で学ぶことの意味や目的、学ぶ良さが分かっている。

児童 88% (前期 88%) 保護者 81% (前期 79%) 教職員 91% (前期 95.8%)

保護者の評価が少々低い。子供たちが学ぶことの価値や意味を分かるように、今の学びが自分の未来の生活、将来の自分の姿につながるなどを具体的に伝え、子供主体の授業ができるように工夫し、それを保護者にも伝わるようにしていきたい。

#### ○学習のめあてを解決するための調べ方や話し合いの仕方が分かっている。

児童 87% (前期 82%) 保護者 71% (前期 70%) 教職員 100% (前期 92%)

児童や教職員に比べ、保護者の評価が低い。「学習のめあて」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ」の手順で、相生スタンダードに沿った授業をしていることについて、参観会で実際に相生スタンダードで授業を展開したりや学年便りなど知らせて理解してもらおうようにしたい。

#### ○授業でめあてについて考えるときに、前に学んだこととつなげたり、友達の話聞いて自分の考えとつなげたり、友達の話聞いて自分の考えと比べたり違いや同じところを探したり理由をつけて自分の考えを言ったりしている。

児童 87% (前期 85%) 教職員 79% (前期 64%)

教職員の数値が上がっている。情報収集の仕方や情報の選び方、「関連付け」「比較」「分類」「類推」などの考え方や重要な視点にそった話し合いの仕方などが身に付けられるよう授業を工夫して成果を感じている。

#### ○子供は家庭学習に取り組んでいる。

保護者 81% (前期 82%)

保護者の家庭学習に対する評価が少々低い。今後も家庭学習の出し方の工夫や学習方法の紹介、担任による価値付けなどの取り組みを継続し、主体的に家庭学習ができるよう、支援していく。

#### 認め合い(心) 自他のよさを知り、認め合い高め合う子

- ・ 自分のよさを知り、友達のよさが分かる。
- ・ 自分で判断し、よいことを進んで行うことができる。
- ・ よりよい学級・学年・学校にするために働くことができる。

○友達のよいところに気付くことができている。

児童 94%(前期 91%) 保護者 95%(前期 95%) 教職員 100%(前期 95.8%)

様々な場面で、子供たち同士、よさを伝え合う機会を設定した成果が見られ、数値が向上している。今後も友達のよさを認め合う場を位置づけていく。

○よいことと悪いことを判断し、行動することができている

児童 85%(前期 82%) 保護者 90%(前期 89%) 教職員 100%(前期 92%)

児童アンケートに「相生 10 か条をしっかりと守っている」と入れたため、子供たちがより具体的な生活場面を思い浮かべ、自己評価することができた。規範意識を一層高めていくため、「相生 10 か条」を意識させ、よいところを称揚しながら繰り返し指導に当たっていく。

○いつでもだれに対しても挨拶をすることができている。

児童 88%(前期 89%) 保護者 78%(前期 77%) 教職員 83%(前期 83%)

生活のめあてに挨拶を設定したり挨拶運動を行ったりして挨拶指導を進めてきた。子供たちの自己評価は高いが、声を掛けられても挨拶を返せない子もまだまだいる。どんな場面でも明るい挨拶が日常化されるよう、粘り強く声掛け、称揚を継続していく。

○よりよい学級・学年・学校にするために進んで働くことができている。

児童 90%(前期 92%) 保護者 88%(前期 86%) 教職員 96%(前期 92%)

多くの子供たちが係や委員会活動を核に、任された仕事に真面目に取り組んでいる。今年度行った代表委員会をさらに発展させ、子供たちが自治的な活動を展開できるよう環境を整えていく。

**鍛え合い** 心身ともに健康で、鍛え合い、あきらめずに挑戦し続ける子

- ・体を動かす楽しさを味わい、主体的に運動する。
- ・基本的な生活習慣を身に付け、安全な生活ができる。

○体を動かすことが楽しく、学校で進んで運動している。

児童 85%(前期 82%) 保護者 82%(前期 83%) 教職員 100%(前期 92%)

2学期以降は、クラススポーツ、持久走練習、縄跳びタイムなど、多様な運動経験の場を設定し、調整力を育むきっかけ作りを行った。楽しさを味わい、休み時間にも進んで運動する子が見られる。今後も自分の目標に向かって運動する粘り強さを育てていく。

○健康に気を付けて生活している。

児童 90%(前期 85%) 保護者 92%(前期 91%) 教職員 96%(前期 96%)

2学期以降も熱中症対策や感染症対策をして子供たちが元気に過ごせる環境づくりを整えてきた。学級閉鎖もなく、学校行事や様々な活動も順調に開催することができた。毎週のすこやかチェックの項目の中の就寝時刻について課題があるので、各家庭の御協力を得ながら、来年度も健康や成長についての意識を高めていきたい。

○周りをよく見て安全に生活することができている。

児童 89%(前期 88%) 保護者 93%(前期 91%) 教職員 96%(前期 85%)

今年度は病院にかかるようなけがが前年度より減った。ただ、廊下歩行や遊具での遊び方に課題が見られる部分があり、小さなけがや防げるけがが見られる。安全を意識して行動できるよう、繰り返し指導していく。

**キャリア教育** 自分の夢や目標をもち、夢や目標の実現に向けて努力することができる。

・温かくかかわる力 ・自分を高める力 ・あきらめずに挑戦する力 ・夢をもちつなげる力

○相手の話をよく聞き、友達と協力して行動している【温】 児童 91% 保護者 94% 教職員 96%  
○自分のよさに気づき、自信をもつことができている【高】 児童 80% 保護者 85% 教職員 96%  
○失敗をおそれず自分の考えた方法で繰り返し挑戦している【挑】 児童 85% 保護者 78% 教職員 96%  
○夢や目標に向かって努力したり、意欲をもって学んだりすることができる【夢】 児童 89% 保護者 80% 教職員 96%

前期と比べ、全体的に数値が上がった。今後も、日々の授業や活動で一人一人への価値付けを行っていくことで、子供達が【高】の力を高めていけるようにしていく。今年度も地域の方や、CSボランティアさんとの関わりが一層増えた。来年度も身近な大人である皆様と一緒に関わる機会を増やすことで、【夢】の力がより高められるようにしていく。

**いじめ防止等の取組について**

アンケート等を活用し、いじめを早期に発見し、学校体制で解決を図る。

	いじめ認知件数	解消件数	継続件数
R6年度	71	23	61 <small>(昨年度の分も含む)</small>
昨年度 (R5年度)	56	27	23

- ・前年度と比べて、認知件数が増えた。1学期に紙媒体でのアンケート、2、3学期にはシャボテンログを使用してのアンケートを行い丁寧に聞き取りをして解決に向けて学校体制で取り組んだ。
- ・教職員一人一人がアンテナを高くして、いじめを見逃さないようしっかり児童観察をした。
- ・継続件数は多いが、一件一件について、丁寧に児童の聞き取りや観察、周りの教職員から見た意見、保護者の思いに沿って慎重に解消認定をしているためだと思われる。
- ・2月の朝会では、校長から「いじめ反対」の取り組み、ピンクシャツデーの紹介があった。また、ピンクシャツデーの2月26日には、校長をはじめ教職員がピンクのものを身に付け、いじめを許さない意思表示をした。



## 令和6年度 浜松市立相生小学校 学校評価報告書

## 1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策  
別紙のとおり

## 2 学校関係者評価

2月14日(金)に開催した学校関係者評価委員会(学校運営協議会)において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告。委員からは以下のような意見があった。

- ・自分の言動について、相手がひどく傷ついたという経験があった。子供だったらどうだろうかと考えさせられた。本人は、これがいじめだと分からないこともあるので、直接言ってくれて、自分も理解できた。刺さっている言葉をずっと引きずることもある。いじめの件数については、相生小でたくさん見つけていることは、評価に値すると思う。大人なら、話合いで済むことが、子供同士では、難しい。小さい子は、大人の仲介がないとなかなかできないのではないかな。
- ・静岡県内でも、低学年の子供のいじめが増えており、全般的に増加傾向である。積極的な認知が必要だと思う。「だめだよ」という指導は、正しいけれど、人にとっては、「だめだよ」と言われたことに対して、いじめられたと感じる子もいる。「もっとこうなったら、うれしい」という言葉を目的論で伝えられるとよいのではないかなと思う。ちょっとした声掛けが大切で、いじめの改善にもつながると思う。
- ・心の日とか、いろいろなことを通して、「ふわふわ言葉・ちくちく言葉」を教えてください。学校内の様子を伝えてくださるのは、大変ありがたい。先生たちは、一生懸命やってくれていると思う。
- ・以前と比較すると、あいさつはよくなってきている感じがする。伝統になれば、何かを意図的にしなくても、しっかりできるようになる。
- ・親は、子供があいさつしていないと感じている。見ていると、旗振りの方は、子供と仲が良い。毎日、顔を見ていると、ふれあい度が違っているのを感じる。
- ・子供たちが、自分の良さやなりたい自分の姿に、気付くことができるようなボランティア活動を続けていければと思う。

### 3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・風の子太陽の子応援団（CSボランティア）の活動が、昨年度より一層活発になり、身近な大人と関わって活動する経験が増え、児童の活動が充実している。今後もたくさんの方に応援団に登録、参加していただくため、活動を知らせる方法を工夫したり、活動時期が重ならないように計画したりして来年度も風の子太陽の子応援団の活動を充実させていく。
- ・いじめについては、これからも迅速かつ適切に組織的に対応し、重大化を防ぐ。また、いじめを許さない意識づくりを委員会活動、代表委員会を通じて子供主体で取り組み、浸透させていく。
- ・心の日の活動や行事ごとに良さを伝えあう機会を設定することで自己肯定感が高まっている。また、子供が主体的に行事に取り組み、それが自信につながっていくよう、教師が一人一人の行いを丁寧に価値付けていく。
- ・生活のめあてに挨拶を設定したり挨拶運動を行ったりして指導をしてきた。まだ、声を掛けられても挨拶を返せない子もいるのでどんな場面でも明るい挨拶が日常化されるよう、粘り強く声掛け称揚を継続していく。